

「世界標準債券ファンド(愛称:ニューサミット)」 2017年7月決算と今後の市場見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

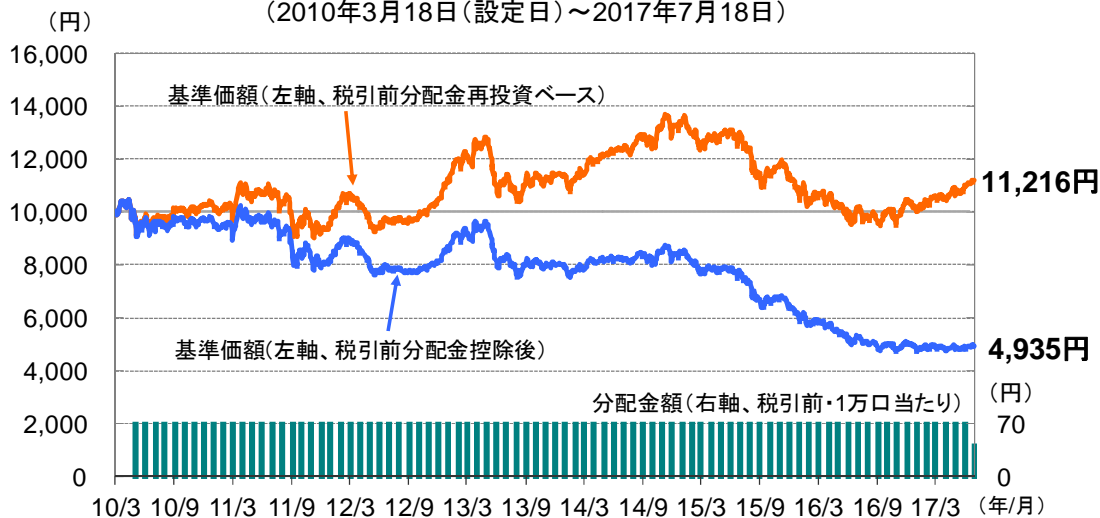
さて、ご愛顧頂いております「世界標準債券ファンド(愛称:ニューサミット)」は、2017年7月18日に決算を迎えました。当ファンドは、毎月安定した収益分配をめざすという方針のもと、設定来、毎月70円(1万口当たり、税引前)の分配を行なってきました。しかしながら、今回の決算において、現在の基準価額水準や市況動向などを総合的に勘案し、お支払いする分配金額を抑えて内部留保することにより、将来の運用成果を高めることをめざし、分配金額を以下の通り見直すことと致しました。

次ページ以降では、分配金額を変更した背景や今後の見通しなどについてまとめましたので、ご一読いただけますと幸いです。

今後とも、「ニューサミット」をご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

＜基準価額と分配金額の推移＞

(2010年3月18日(設定日)～2017年7月18日)



分配金実績 (税引前、1万口当たり) 2017年7月18日現在	2010年5月～ 2017年6月	2017年7月	直近1年間 合計	設定来合計
	70円/月	40円	810円	6,060円

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド/愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)/愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

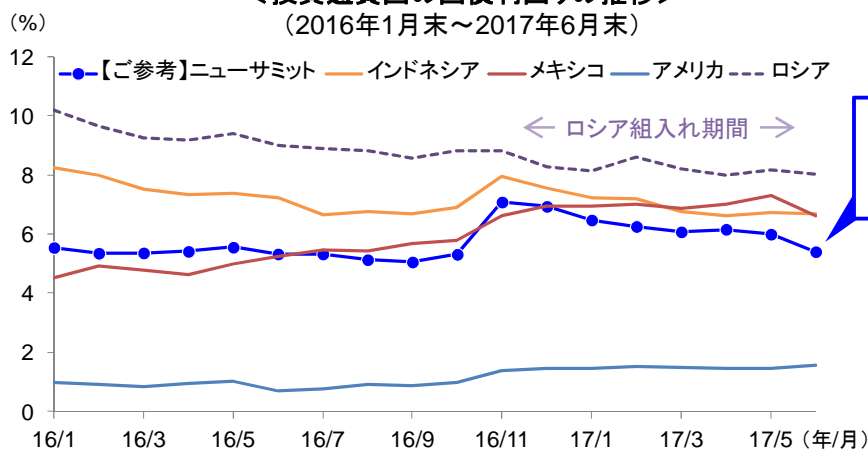
1 なぜ分配金額を変更したのですか。

為替動向や、世界的な低金利環境などを背景としたインカム収益の水準の低下などにより、基準価額水準が低下し、基準価額に対する分配金額の水準が高まっていると判断したためです。

為替市場では、2016年前半、原油価格の下落や世界景気に対する先行き不透明感の高まり、米国の利上げ姿勢に伴う新興国からの資金流出懸念などを背景に、高金利通貨を中心に下落圧力が強まり、当ファンドの基準価額は軟調な展開となりました。またその後、世界的な低金利環境などを背景に、当ファンドのインカム収益の水準が低下したことなども、基準価額に対する分配金水準の高まりにつながりました。

当ファンドでは、2016年11月よりロシアを投資国に追加して投資成果の改善に努めてまいりました。足元で、基準価額は改善基調にあるものの、収益の源泉であるインカム水準が低下基調となっており、今後も安定的な収益分配を継続するため、分配金額を引き下げて内部留保し、信託財産の成長をめざすことと致しました。

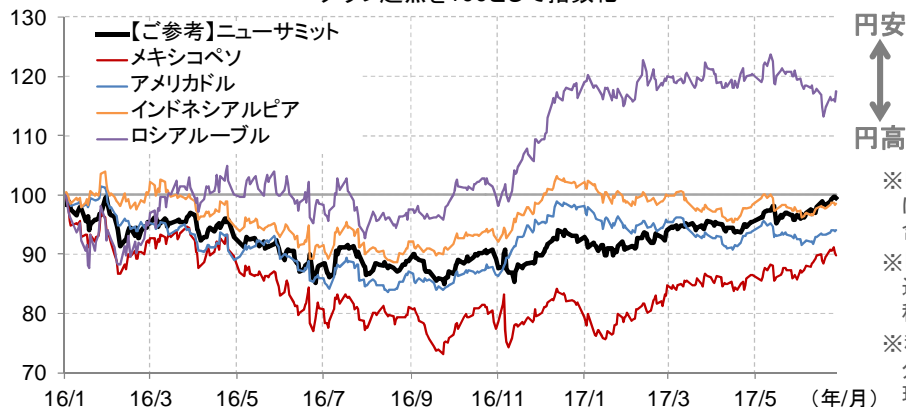
＜投資通貨国の国債利回りの推移＞
(2016年1月末～2017年6月末)



ニューサミット
5.4%
(2017年6月末)

※各国の金利は、3年国債利回りです。
「ニューサミット」は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の最終利回りです。
※最終利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものあり、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。将来得られる期待利回りを示すものではありません。

＜投資通貨の推移(対円)＞
(2016年1月初～2017年6月末)
グラフ起点を100として指数化



※「ニューサミット」の推移は通貨の動き以外に債券の金利収入・価格変動などの影響も含まれます。
※「ニューサミット」基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の税引前分配金再投資ベースの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

2 ファンドの運用状況を教えてください。

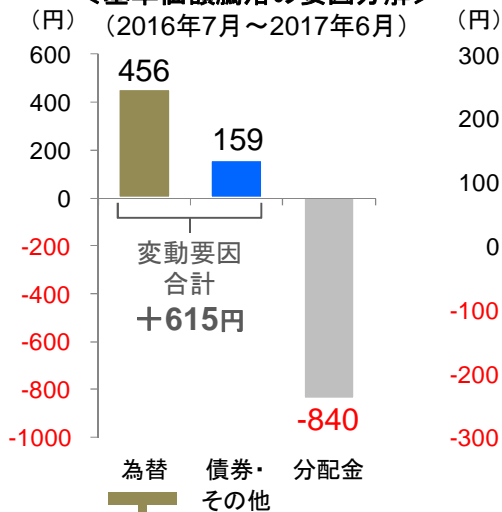
直近1年の基準価額は、昨年後半の円安進行やロシアの組入れなどを背景に、為替要因、債券要因ともにプラス寄与となりましたが、お支払いした分配金が基準価額を押し下げることとなりました。なお、2017年6月にロシアを投資対象から除外しました。

当ファンドは主に、高金利通貨建て国際機関債や国債などに投資しています。

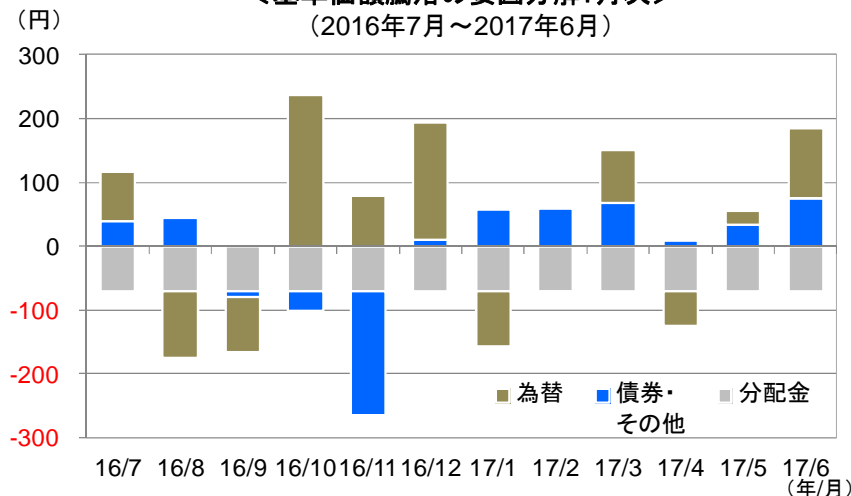
2016年後半以降の為替市場では、投資家のリスク選好姿勢が強まるなか、円が売られた一方、高金利通貨などが買われる展開となったことから、当ファンドでは、メキシコペソやインドネシアルピアを中心に、為替要因がプラス寄与となりました。

一方、「債券・その他要因」については、2016年11月に、投資家のリスク選好姿勢が急速に強まり、債券が売られてマイナスが顕著となったものの、その後は、相対的に金利水準が高いロシアの債券からのインカム収益などが安定的な収益創出につながり、基準価額に貢献しました。

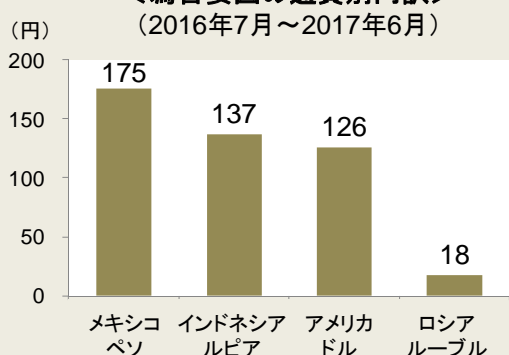
＜基準価額騰落の要因分解＞



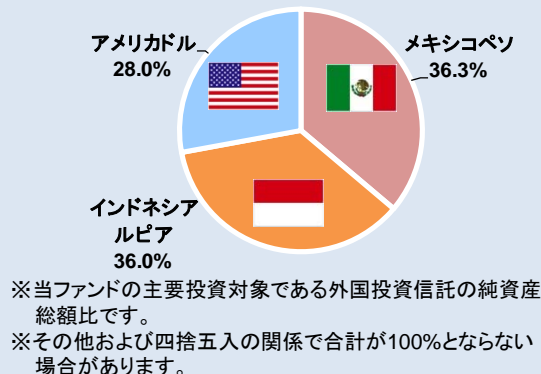
＜基準価額騰落の要因分解：月次＞



＜為替要因の通貨別内訳＞



ご参考：通貨別組入比率(2017年6月末)



※上記要因分解は、1万口当たりの基準価額における数値です。

※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

3 なぜロシアを投資対象から外したのですか。

国際情勢や原油市況など、ロシアを取り巻く外部要因が足元で急速に悪化し、従来考えていた見通しから状況が大きく変化しているため、ロシアの債券を売却することが望ましいと判断したからです。

当ファンドでは2016年11月以降、原油価格の回復やロシアの景気改善、実質的な高金利などを背景に、ロシアルーブルに上昇余地があると判断し、4つ目の投資対象として投資を行なってまいりました。その結果、ロシアルーブルは堅調に推移したことから、当ファンドでは、為替、債券の両面から、ロシアが基準価額の押し上げに一定の寄与があったと考えています。

しかし足元では、ロシアの対米関係を中心に、同国を取り巻く環境に悪化がみられ、潜在的なリスクが急速に高まっています。そのため、ロシアの債券を売却することが望ましいとの判断に至りました。

ロシアを
取り巻く
足元的环境

米国大統領選挙の
ロシア介入疑惑など
米露関係の急速な悪化

米国によるロシアへの
経済制裁の緩和・撤廃の
可能性の低下

米国シェールオイルの
生産増加やイラク、リビア
での原油増産など
原油価格の下押し要因

4 今後の見通しについて教えてください。

米国では、緩やかながら堅調な景気拡大が続いており、6月には今年2回目となる利上げが実施されました。欧州や英国などでは、足元で中銀当局者からタカ派寄りの発言が相次いだことから、今後の動向が注視されますが、世界経済は景気循環の拡大局面に向かうとみられるなか、各国のインフレ動向に留意した金融政策や景気刺激策などが、世界経済の成長を下支えする見通しです。

- インドネシアでは、ジョコ大統領の下で政治情勢が大幅に改善しています。5月のS&P社による国債格上げにより主要格付会社3社から投資適格級が付与されたことで、持続的な資金流入が見込まれます。同国は、好利回り市場であることから、魅力的なインカム収入の獲得が期待されます。
- メキシコについては、同国経済に対する米保護主義的な政策の懸念に落ち着きが見られ、足元では、メキシコ中央銀行の動向が、メキシコペソの動きをみる上でのカギになるとみえています。トランプ米政権は、NAFTA(北米自由貿易協定)の再交渉や、大々的に報じられたメキシコ国境沿いの壁の建設計画への取り組みについて、当初よりも軟化姿勢がみられます。こうしたなか、米国経済の堅調は、対米輸出の拡大につながることから、引き続き、中期的なメキシコ経済への恩恵が見込まれます。
- 先進国市場では、依然として米国を選好しています。足元でのFRB(連邦準備制度理事会)議長の発言は、失業率が世界金融危機前の最低水準に向けて低下を続けるなかで、慎重ながらも金融引き締めを維持する姿勢を示しており、欧州や日本で金融緩和が継続される見通しであることを踏まえると、米ドルは金利差に下支えされ、上昇すると考えています。

こうしたなか、今後も、投資環境が良好で、通貨上昇や魅力的なインカム収益が期待できる通貨を選好し、必要と判断した場合は、通貨入れ替えなども考慮しながら運用を進めてまいります。

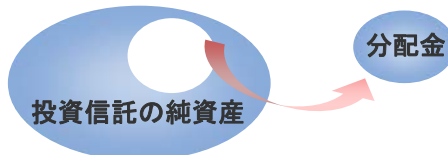
上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

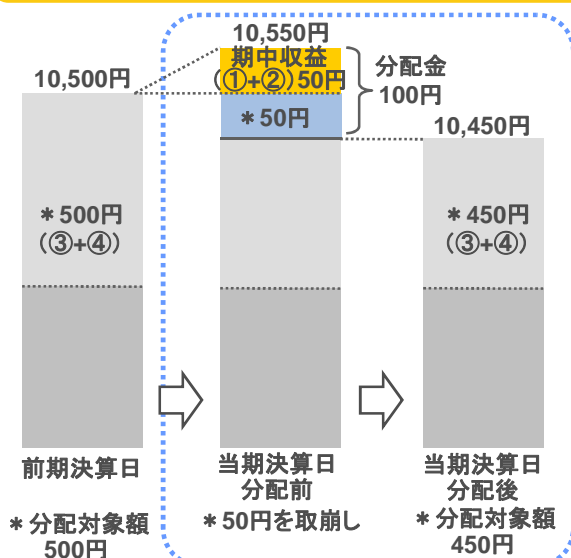
投資信託で分配金が支払われるイメージ



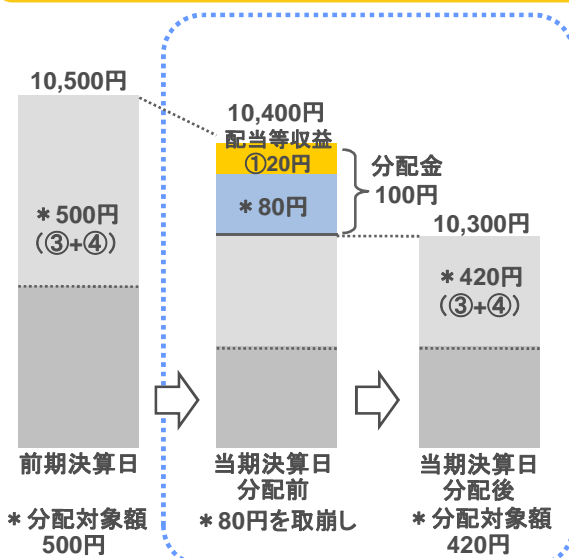
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

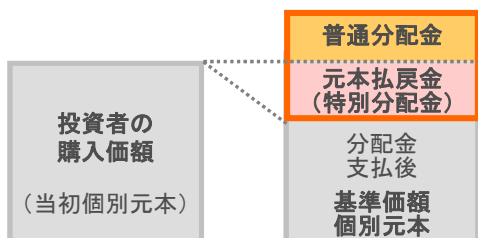


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

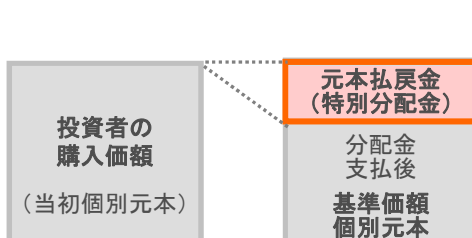
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド/愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)/愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

ファンドの特色

1. 国際経済・政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域*1の通貨を投資対象とします。

*1 資料作成日現在、G20の構成国・地域とします。投資対象通貨は将来変更となる可能性があります。

2. 投資対象通貨の中から3通貨*2程度を選定し、当該通貨建てのソブリン債に投資します。

*2 市況動向および資金動向などにより、組入通貨数変動する可能性があります。

3. 【ニューサミット】原則として、毎月、安定した分配を行なうことをめざします。

【ニューサミット(1年決算型)】年1回、決算を行ないます。

※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／内外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 【ニューサミット】2020年1月17日まで(2010年3月18日設定)
【ニューサミット(1年決算型)】2029年7月17日まで(2014年6月2日設定)
- 決算日 : 【ニューサミット】毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
【ニューサミット(1年決算型)】毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

【ニューサミット】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

【ニューサミット(1年決算型)】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.4332%(税抜1.35%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1232%(税抜1.04%)、投資対象とする「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.31%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
 - その他費用 : 【ニューサミット】
目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有効証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託報酬から支払われます。
※組入有効証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
【ニューサミット(1年決算型)】
目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有効証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託報酬から支払われます。
※組入有効証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
- ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
- ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。